

	トヨタの動向	主な出来事
2008年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北米に先端研究所を設立 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「プリウス」の累計販売台数が100万台を突破  <p>1997年に世界で初めて発売された量産ハイブリッド乗用車「プリウス」は、日本をはじめ、北米を中心に世界で40以上の国・地域で好調な販売を続けています。その結果、全世界での「プリウス」の累計販売台数が、2008年4月末までに約102.8万台と、100万台を突破しました(2009年3月末現在、125万台を突破)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「サステイナブル・プラント」活動を本格的にスタート  <p>トヨタは、「自然を活用し、自然と調和する工場づくり」を目指し、「革新技術の導入とカイゼンによる飛躍的な環境パフォーマンスの実現」「太陽光・風力などの自然エネルギーやバイオマスなどの再生可能エネルギーの活用によるCO₂削減」「工場の森づくりを通じた、地域交流・生態系保護」の3つの観点を踏まえた工場づくりであるサステイナブル・プラント活動に取り組んでいます。その一環として、堤工場では、地域住民の皆さまと社員が約5万本の植樹を実施しました。この大規模な植樹を皮切りに、国内の他の車両工場やユニット工場、海外の工場などにおいても、順次、サステイナブル・プラント活動を展開していきます。</p>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV-adv」を開発 ■ 「研究開発」「モノづくり」「社会貢献活動」の3つの分野で、低炭素社会に向けた活動を強化 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北米生産体制の再構築策を発表 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ニューヨーク市場で一時1バレル=147.27ドルの史上最高値をつけるなど原油価格の高騰 ■ 「第34回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)」が日本で開催
8月		<ul style="list-style-type: none"> ■ 北京オリンピック開催
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 欧州研究開発・生産技術拠点を拡充 <p>トヨタの欧州における事業統括会社であるToyota Motor Europe NV/SAは、研究開発・生産技術拠点としてToyota Motor Europe NV/SA(TME)Technical Centreを2010年頃に設立する予定です。欧州のお客さまのニーズに対応した商品の開発を強化することを目的とし、さらなる技術開発の現地化に取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米証券大手リーマン・ブラザーズの経営破綻をきっかけとする米国金融市場の混乱

	トヨタの動向	主な出来事
2008年10月	<p>■ インターネット上の3次元仮想都市「TOYOTA METAPOLIS(トヨタメタポリス)」をグランドオープン</p>  <p>2008年10月にグランドオープンした「TOYOTA METAPOLIS(トヨタメタポリス)」は、トヨタの新たな情報発信媒体として、特に若年層のお客さまにクルマをより身近に楽しんでもらうことを目的とした、人とクルマ、地球と未来・夢・楽しさ、自然との共生を実現するトヨタ独自のインターネット上の3次元仮想都市です。仮想都市では、利用者が自分の分身をつくり住人になることで、トヨタ車の試乗体験や新車発表会などのイベントに参加したり、他の利用者との交流を楽しむことができます。お客さまとトヨタが直接コミュニケーションをとることができる場として、2009年7月末現在、累計75万人のお客さまにご来場いただいています。(詳細はhttp://metapolis.toyota.co.jpをご参照ください)</p> <p>■ 新型車「iQ」の発売を発表</p>	<p>■ 米国の金融危機が世界市場へ波及</p>
11月		
12月	<p>■ トヨタとPSA、チェコ工場で累計100万台生産を達成</p>	
2009年 1月	<p>■ 2009年北米国際自動車ショーに新型「プリウス」、レクサス「HS250h」、小型EVコンセプト「FT-EV」を出展</p>  <p>米国デトロイトで開催された2009年北米国際自動車ショー(デトロイトモーターショー)に、3代目となる新型「プリウス」をはじめ、レクサス初のハイブリッド専用モデル「HS250h」、リチウムイオン電池を搭載した電気自動車(EV)のコンセプトモデル「FT-EV(Future Toyota-Electric Vehicle)」を出展しました。トヨタは、人や地球と共生するサステイナブル・モビリティ社会の実現に向け、環境技術開発に取り組み、また、そうした技術を商品として市場に普及させていくことが重要と考えています。</p> <p>■ レクサス「RX350/RX450h」をフルモデルチェンジ</p>	<p>■ バラク・オバマ候補が米国初の黒人大統領に就任</p> <p>■ 米国自動車市場の年率換算が1,000万台割れ(1982年以來の低水準となる960万台レベル)</p>
2月		
3月	<p>■ 世界初「後席センターエアバッグ」を開発</p> <p>トヨタは、側面から衝突された際、後席で隣に座る乗員への二次衝突などによる被害を軽減する「後席センターエアバッグ」を世界で初めて開発しました。今後も「安全な車両・技術開発」をはじめ、「交通環境整備への参画」「人に対する交通安全啓発活動」を通じ、交通安全への幅広い取り組みを強化していきます。</p> <p>■ トルコ工場で生産累計100万台記念式典を開催</p> <p>■ 「クラウンマジェスタ」をフルモデルチェンジ</p>	